

BT

第678号1993年11月1日発行 毎月1回1日発行
1948年4月20日 第3種郵便物認可 ISSN 0287-2218

美術手帖

11

November
1993

Monthly Art Magazine
Bijutsu Techo
Vol.45 No.678

牛波の〈宇宙アトリエ1993〉
韓国・現代美術の12人展
大光コレクション展
ベルギー現代美術展

【特集】 Special Feature

アート & メディア・エイジ

Art Innovation by Media Expansion

【特集】
Special Feature

アート & メディアアーツ

Art Innovation by Media Expansion

【監修】森茂樹＋山口勝弘

【口絵構成】

映像の心象風景／知覚の認識装置／2次元での3次元／
時間と映像／映像とかたち／虚構との接点／メディア環境のなかで／
ロボットVSマシン人間／意味のない機械の意味／
聴く美術／自然律と技術

【解説】森茂樹＋編集部

【テキスト】

メディアがアートを変えるとき

【対談】茂登山清文＋山口勝弘 71

【小講座】アート&テクノロジーの20世紀

——70大阪万博前後を中心に—— 森岡祥倫 87

【年譜】20世紀のアート&テクノロジー史 森岡祥倫＋編集部 104
メディア・サーキット／
「年譜」20世紀のアート&テクノロジー史 森岡祥倫＋編集部 104
展示会＋スペース＋研究所・教育機関＋人物＋用語＋アミューズメント
有馬純寿＋草原真知子 108

from Exhibition

韓国・現代美術の12人展

余白の存在理由 レイシンドテール 万木康博 126

ベルギー現代美術展 菅章 197

アイローの系譜 菅章 197

大光コレクション展 大倉宏 205

“前衛”収集家の足跡 大倉宏 205

【特別記事】牛波の「宇宙アトリエ一九九三」

無重力絵画 地球美術幼年期の終わり 編集部 120

from Abroad

ニューヨーク 「バインズ財団のフランス名画展」合衆国ホロコースト記念博物館ほか 藤森愛実 138

パリ 第2回リヨン現代美術ビエンナーレ 港千尋 142

ラインランド アントニタピエス＋エドゥアルド・チリダ＋トーマス・シュトルト 145

ガブリエレ・リヴェット 145

ロンドン 「パートナーズ展」ワンダフルライフ展ほか 原田るい子 148

ロサンゼルス 静世ベッカー 151 ベルリン 河合純枝 151

ローマ — バルバラ・ベルトツィイ 152 バルセロナ — 江口尚子 153

Reviews

東京
永沼理善 — 草加登起夫 — 柳澤裕貴 矢内みどり 166
加藤力 — 陸根丙 — 平林薫 清水哲朗
名古屋
浜本隆司 — 松岡徹 高橋綾子 173
京阪神
柳美和 — 岡田修二 — 三脇康生 176
エフア・ヴィナースバツハ — 清原正人 — 石井理之 中谷至宏

Serials

海外の美術雑誌から10 イギリス『フリーズ』ほか 河合純枝 154
アート・サイド・プロフェッショナル10 洋画筆製造業 池上ちかこ 156
×セナABC11 国際性の表現を意識し始めた中規模企業 笹沼俊樹 158
評伝ヨーゼフ・ボイス19 ハイナー・シュタツヘルハウス — 訳 山本和弘 183
持続する現在8 遠藤利克 カオスへの衝動 菅原教夫 214
美事拾遺17 アンディ・ゴールズワージー展 — ふたつの秋ほか 218
芸術をめぐる言葉11 谷川渥 225

Monthly Forum

CHRONICLE EYE 現代イコラジー論II 那賀裕子 — 貞彦 226
MUSEUM REPORT 兵庫県立近代美術館 尾崎信二郎 228
VISUALS 書架の「色」—— 幼児向けテレビ雑誌の螢光色趣味 塚本千春 230
BOOK REVIEW 菊畑茂久馬著『絵描きと戦争』三田晴夫 232
NEW BOOKS 岡田隆彦著『芸術の生活化』ほか 234
FOREIGN BOOKS レモ・ギティエリ著『中立物と暈光の年代記』—— 美術館とその物神 井上明彦 236
INFORMATION 情報・告知・案内 238
EXHIBITION GUIDE 展覧会 — ギャラリー案内 240

次号予告 — ズクナンバー・リスト 259

発行人 大下敦 編集人 田中為芳
編集主幹 椎名節 編集長 篠田孝敏 副編集長 真壁佳織
スタッフ 宮崎由紀子 + 宮村周子 + 野崎武夫 + 押金純士 + 田村敦子 + 梁瀬薫 (NY支局)
撮影 桜井ただひさ + 渡辺良治
AD 芦澤泰偉 デザイン 北島裕道 + 岩崎美紀 (TAI & Co.)
英文 レベッカ・トゥルーラヴ 表紙・目次写植 徳江暁 (K・プレーン) 本文写植 ユトリ・アル
発行 株式会社美術出版社 東京都千代田区神田神保町2-36 稲岡ビル6階 〒101
☎03-3234-2155 [編集] ☎03-3234-2151 [営業] ☎03-3234-0807 [広告]
振替 東京5-166700
印刷・製本 凸版印刷株式会社
表紙用紙 MKカバー・P232.6g/m²神崎製紙株式会社
本文用紙 Mt.ロブソン92g/m²山陽国策パルプ株式会社
発行日 1993年11月1日
©by S.P.A.D.E.M. Paris ©by A.D.A.G.P. Paris illustrations of the works
by members of S.P.A.D.E.M. and A.D.A.G.P. ©1993株式会社美術出版社

【特集】 Special Feature

アート & メディア・エイジ

Art Innovation by Media Expansion

80年代以降、電子テクノロジーは社会全域に多大な影響を及ぼし、芸術もその例外ではない。いまや、メディア・テクノロジーと芸術の関係は、世界的規模に展開し、国際ネットワークがつくられつつある。進行するメディア芸術の高速スキャンにより、この新しい芸術像の開眼に立ち合おう。

監修

森茂樹 + 山口勝弘

Shigeki Mori Katsuhiro Yamaguchi

口絵
解説

森茂樹 + 編集部

Since the 1980's the influence of electronic technology has been strongly felt in all areas of society, including, of course, art. The present relationship between media technology and art is developing with a world-wide scope, sustaining an international network of art communication.

This piece offers an encounter with the enlightenment of this new media art.

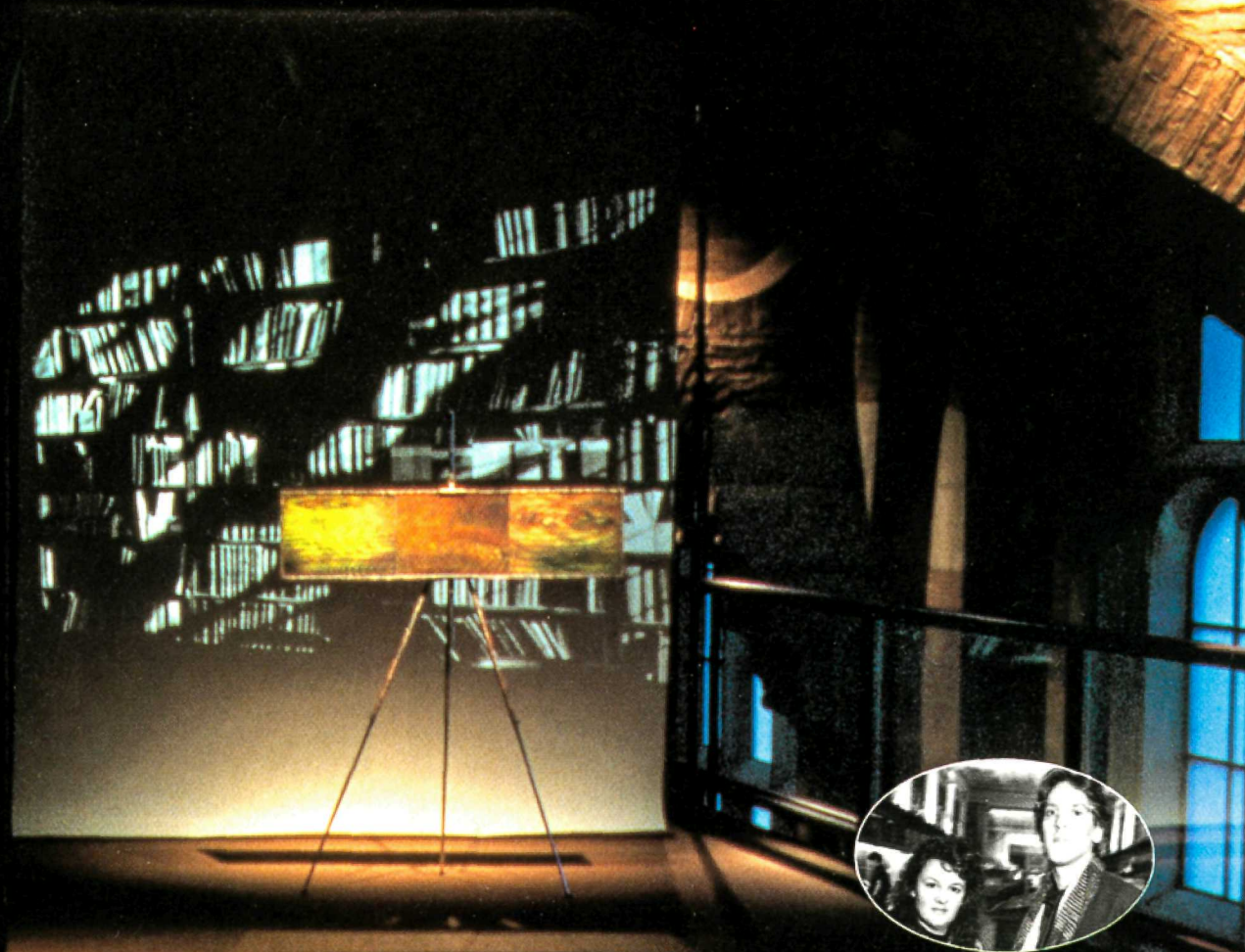
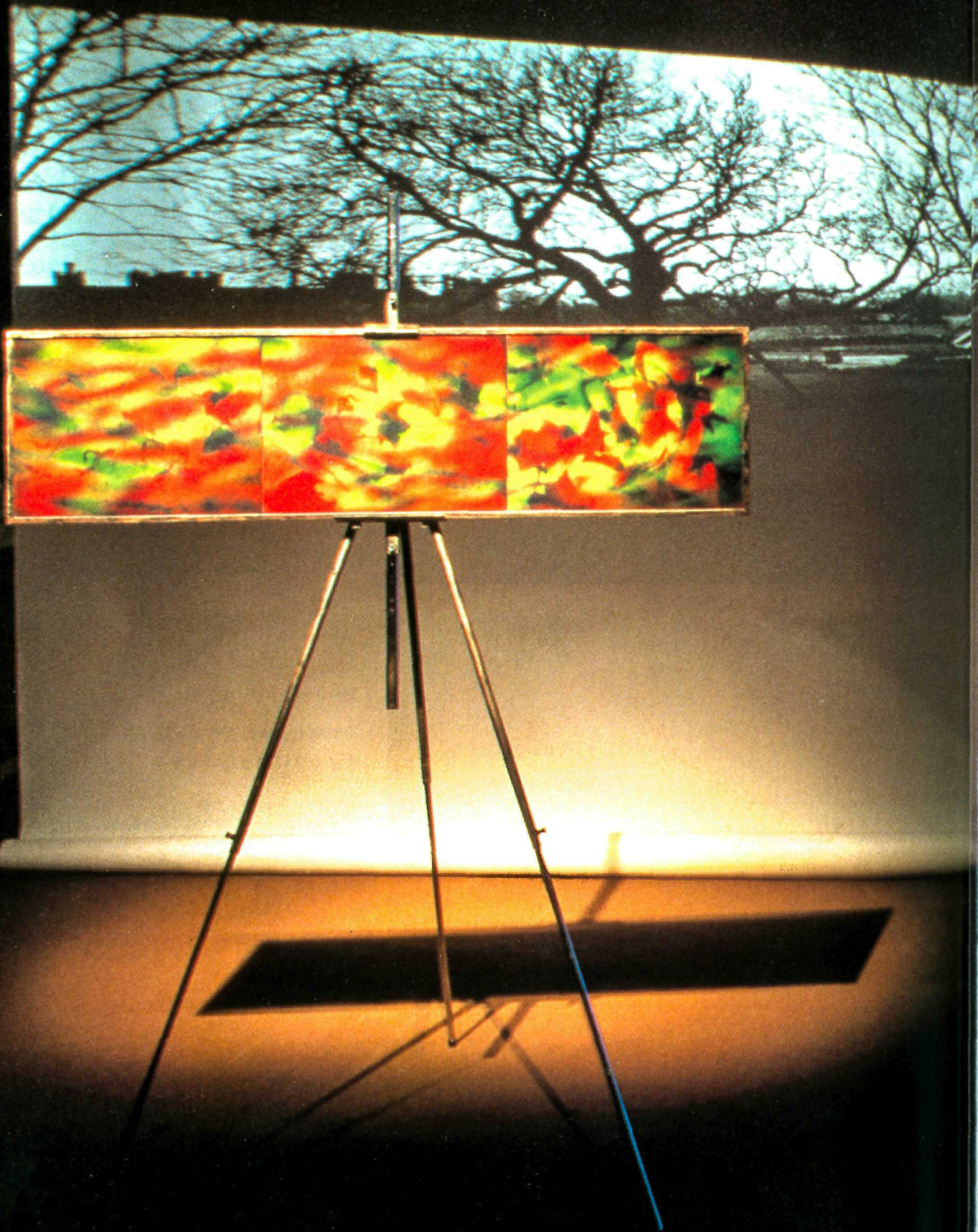
Supervising Editors: Shigeki Mori and Katsuhiro Yamaguchi

Commentary by Shigeki Mori and members of the editorial staff

協力=名古屋国際ビエンナーレ(ARTEC)開催協議会
The Council for the International Biennale in Nagoya

スタジオ・アズーロ
泳ぐ人 1982(制作)
イタリアでの展示風景

© STUDIO AZZURRO+LAFORET MUSEUM



ウェニヨン&ギャンブル

M. Wenyon & S. Gamble

c.1983 ——— 併リス、アメリカ

美術家のスーザン・ギャンブルと光学の世界に通じていたマイケル・ウェニヨンは、共同制作を開始後、英国最古の科学研究機関であるグリニッジ天文台に一年間滞在した。このことが彼らに、ニュートン以来の科学を中心とする歴史と宇宙観を、光学技術が今世紀に生み出したホログラフィというメディア上に表現するという方向性を与えることになった。90年代初頭には彼らは筑波大学で教鞭をとる。そこでは異文化間コミュニケーションの窓口として書物に注目し、作品に取り入れた。光、オブジェ性、平面性といったホログラフィのもつ特性が巧みに整理されたインスタレーションが、水戸芸術館や東京都写真美術館でも紹介された。 <BT>

2次元での
3次元

Holography
—3D from 2D

アウグスティヌス美術館での展示会場風景
左——跡 ニュートンの輪 1988
ポートレート：Photo Joel Porter, 1992
Courtesy The Artist